

# 今なぜ文化が必要なのか

21世紀を迎え、人々の価値観は「ものの豊かさ」から「こころの豊かさ」へ、効率性の追求から人間的なぬくもりの尊重へと大きく変化している。

一方、今日の社会は少子・高齢化の進行、国際化・情報化の進展に加え、地域（都市）間による個性を競いあう時代を迎えるに至った。

このような中で、人々に生きがいを与え、心のよりどころともなり、さらに生活をより豊かに充実させるなど社会を支える基盤でもある文化の役割はかつてないほど重要なものとなってきている。

## 1. 文化を取り巻く社会状況

今日の文化を取り巻く社会状況とその背景は、次のとおりである。

### (1) 「ものの豊かさ」から「こころの豊かさ」へ価値観の大きな転換が見られること

文化的、創造的活動への要求が高まっている。

量から質を重視した暮らしへの希求が強くなっている。

あらゆる世代を通じて生きがい追求されるようになってきている。

誰もが文化を享受できる環境が求められている。

( 2 ) 快適な生活環境の創出が求められていること

治安のよい安全なまちづくりが必要になっている。

文化に裏打ちされた成熟化社会を創成することが求められている。

快適なまちづくり(アメニティ<sup>1</sup>の創成)への要求が高まっている。

ハード面(環境、景観、風景)とソフト面(生活、行動)の調和、及びこれらを同時に充足することが求められている。

( 3 ) 高齢化の進行に伴い高齢者の多様なニーズが高まっていること

質の高い文化の享受が要請されている。

高齢者の文化活動への参加の意欲が高まっている。

高齢者が培ってきた文化的伝統の次世代への伝達が求められている。

若者文化への接触とその理解による世代間の乖離の是正が必要になっている。

( 4 ) 青少年問題の深刻化への対応が必要となっていること

青少年文化の充実が求められている。

青少年の感性・情操の陶冶が必要になっている。

文化を基底に置いた学校教育の推進が求められている。

文化的伝統の青少年への継承が必要になっている。

---

<sup>1</sup> 【アメニティ】

Amenity「快適性、快適環境」と訳される。生活環境を構成する自然や施設、歴史的・文化的伝統などが互いに他を活かしあうようにバランスがとれ、その中で生活する人間との間に調和が保たれている場合に生じる好ましい感覚。

( 5 ) 国際化と情報化の進展が顕著となっていること

国際的、普遍的な文化の受容と享受への要求が高まっている。  
他方で、文化の画一化に対する地域（都市）の独自性ある文化づくりの必要性が認識されるようになっている。

国際間、地域（都市）間の文化の相互交流とこれによる相互理解が必要になっている。

IT（情報技術）を活用した伝統文化の継承と新たな文化の創造及びその発信が求められている。

( 6 ) 地域（都市）間の個性を競いあう時代が到来したこと

地域の文化を活かし、魅力ある都市づくりが求められている。  
来訪者の心地よさに応える地域住民のもてなしの心（ホスピタリティ）を醸成することが必要になっている。

文化・芸術と産業・観光との緊密化の必要性が認識されるようになっている。

文化産業という観点から産業をとらえるとともに、産業の文化化という認識を一般化していくことが求められている。

## 2 . 文化の果たす役割と社会的財産としての意義

### ( 1 ) 文化の果たす役割

文化は人間の本性に根ざした存在であるとともに、社会に対して大きな効用をもたらすものである。文化の果たす役割は、次のとおりである。

生活にゆとりや潤い、生きがいなど精神的な充足感をもたらす。

人の生き方、価値観、ライフスタイルの源泉となる。

人と人との互いに理解し合い、豊かなコミュニティを形成する土台となる。

地域（都市）の魅力を育み、産業・経済の活力を生み出す源となる。

### ( 2 ) 社会的財産としての意義

上記のような文化の果たす役割にかんがみ、文化は地域全体の社会的財産であり、心豊かな活力ある社会の形成にとって極めて重要な意義を有すると考える。